

全国高等学校家庭科 保育技術検定 2級 1級

2級：言語表現技術検定・家庭看護技術検定

7月16日(月・祝)に、生活文化科2年生保育コース選択者4名が家庭科技術検定言語表現技術・家庭看護技術検定2級の実技試験を受けました。

〔言語表現技術検定 実技〕

指定された年齢にふさわしい絵本の選択ができ、適切な扱い方や表情豊かな読み聞かせができる。



〔家庭看護技術検定 実技〕

乳幼児の発達段階や心身の状態に応じた日常生活の世話ができる。



〔生徒の感想〕

- ・絵本を選択する時に、どの本が何歳児に向いているなどといった理由を学ぶことができた。
- ・ずっと絵本の文字ばかりを見ずに、子どもの反応を確認するために何度も前を見れたと思う。
- ・お人形だから困らずに上手いくけど、実際の子どもだったら泣いたり動いたりですぐ上手いかなと思う。実習の時の子どもの反応などをしっかり見て、自分が大人になった時に必要な技術や知識をしっかり覚えておけるよう、忘れないようにしたい。
- ・作業していると一生懸命になって黙ってしまうことがあり、赤ちゃんを不安にさせてしまうと思った。だからたくさん声かけをして安心させてあげたい。

1級：言語表現技術検定・家庭看護技術検定

7月21日（土）に、生活文化科3年生保育コース選択者6名が家庭科技術検定言語表現技術・家庭看護技術検定1級の実技試験を受けました。

〔言語表現技術検定 実技〕

指定された内容のお話を創作し、感情をこめてお話しすることができる。



〔家庭看護技術検定 実技〕

幼児の発達段階や心身の状態に応じた日常生活の世話ができる。



〔生徒の感想〕

- 今回の検定は焦らずゆっくりできた。これは、何度も練習を重ねてきたからだと思う。結果につながってほしい。
- 話を作るときに、要点を抑えてお互い読み合い、悪い点を改善して一人一人が納得のいく素話ができただけよかった。
- 保育士が笑顔でいることは大切なことなので、子どもに絵本を読むときは一緒に楽しめるような保育士になりたい。
- その時のケガに応じて、自分で判断して準備から実技を、声かけをしながら行うのは大変でした。
- 家でも姉に幼児役をやらせてもらって練習をした。
- 検定は実際とは違って、声をかけても会話ができないから難しいけど、ケガをしたときに子どもを不安にさせないというのは、大事だと思う。保育士になってそんな場面に直面したら、落ち着いて対処したい。

2年生、3年生ともに、暑い中頑張りました😊